

山西大学の授業を終えて

毛塚 茉莉

🌸はじめに🌸

私は、2021年9月から2022年6月まで1年間埼玉県の奨学生として山西大学のオンライン授業を受けました。現地での留学は叶いませんでしたが、このような機会をくださった国際課の皆様や関係者の方々に心より感謝申し上げます。

私のレポートでは、1年間授業を受けて感じた中国語の語学力の成長や、どのように毎日授業を受けていたか、自宅でオンライン授業を受けるという点で少し困ったことや楽しかったことなどの経験談をまとめようと思います。未だコロナウイルスは終息していませんが、オンラインでの留学をするまたは検討している方の参考に少しでもなれたらいいと思います。

📖授業について📖

留学で最初に行ったのは、クラス分けのテストです。筆記と電話での口頭試験がありました。私は、この制度に応募した時も、留学するということが決まった時もほぼ全く中国語が分からない状態でした。地元で中国語の教室には通っていたのですが、個別の初級クラスで遊び半分楽しく学習しに行くという感じで、中国語は全く聞き取れませんでしたし、単語を少し知っているくらいでした。そのためクラス分けテストは全くできませんでした。その後山西大学の初級クラスに決まり、9月から授業を受け始めました。特に最初の方の授業では、先生が英語で説明をすることが多く、何も聞き取れなくて授業についていけなくて必死でした。1か月くらいが経過したころやっと中国語で先生が説明していることくらいはわかるようになりました。

授業は、精読、听说、阅读の3つがありました。私たちのクラスは、教科書ややることは少し違いましたが、3教科とも似たような授業の進め方でした。新しい単語や文法を先生が説明し、教科書の対話文を読んだり練習問題をしたりする、といった感じです。毎日授業で3回以上は指名されて質問に答えていました。また、授業後は毎日課題が出ます。難しいと思うこともありましたが、授業を聞いていれば基本できると思います。

授業では先生が中国のビデオを見せてくれたり、音楽をよく聞かせてくれたり、文化や食べ物、山西省の状況など資料を見せていろいろ話してくださったので中国の文化などを少し理解できた点が良かったです。

宿題や授業中など、それぞれの生徒が住む国についての質問があったりして、中国や日本以外の国について初めて知る機会にもなりました。クラスメイトも面白いと思う人がたくさんいました。授業中にペアを指定されて一緒に宿題をした子はラオス人でした。たまにわからないことを聞きあったりSNSで交流したりと少し仲良くなりました。

授業を受ける際困ったことは主に 2 つです。1 つは先生が説明してくれてもその説明は英語か中国語なのでたまに分からないことがあること、もう1つは紙の教科書が必要な場合は教科書を自分で用意しなければならなかったことです。1つ目は留学前も1番気がかりだったことで、まれにどうしても理解できないこともありましたが、理解できるように先生が優しく教えてくれるのでたいはいは問題ありませんでした。2 つ目の教科書に関しては、留学中はオンラインでデータが配布されるため、紙の教科書が必要であれば自分で購入しなければいけません。アマゾンでその教科書の在庫がなかったり、異常に届くのが遅かったりして少し困ることがありました。必要な場合は早めに用意するのが良いと思います。

中国語の成長

授業を受ける前は、山西大学の授業を受けることがきまったときに HSK2 級を取得しました。それから授業を 3 か月程度受けて 12 月に HSK4 級を取得しました。その後 1 年間の授業を受け、先日 HSK5 級を受けて 188 点でした。HSK 試験用の勉強はしたことがなく、中国語の個別教室も山西大学の授業を受ける前に辞めてしまったので、授業のみの成長です。本当に何も聞き取れなかったところからかなり成長したと感じました。

さいごに

今回の山西大学での学習経験はオンラインでの授業でしたが、とても自分の力になったと思います。これまでなにかにチャレンジしようと思ったこともあまりなかったのですが、この経験を機に、いろいろなことにチャレンジしたいと思うようになりました。山西省についても知る機会になり、いつか実際に観光などで訪れてみたいと思いました。今回学んだことを今後に生かして精進していきたいです。改めてこのような素晴らしい機会をいただき本当にありがとうございました。